

2025 年 10 月号

四万十図書館だより

発行＊四万十市立図書館

秋冷えが爽やかに感じられる今日この頃、皆さまお元気にお過ごしでしょうか？

図書館では現在、四万十市に限らず幡多地域に関連した郷土の写真を収集しています。ご自宅に眠っている郷土の写真がありましたら、図書館カウンターまでご持参ください。

10 月図書館情報

雑誌・リサイクル図書の配布

保存期限の過ぎた雑誌・リサイクル図書を
市民の皆さまに無料でお譲りしています。
お持ち帰り用の袋は各自ご用意ください。

配布日時

雑誌 毎月 10 日 9 時～ お一人様 5 冊まで

図書 毎月 20 日 9 時～ 冊数制限なし

場所 図書館入り口付近

※配布する雑誌・図書の予約や
取り置きはできません

※状況により中止や変更になる可能性があります。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→休館日

一般展示

「高知新聞で紹介された本」

令和 7 年 2 月から 4 月の期間に高知新聞で紹介された、当館に所蔵のある本を展示しています。

場所：一般展示コーナー

ティーンズ展示

「ホラー・ミステリー小説はいかが」

10 月 7 日のミステリー記念日に合わせ、ホラー小説やミステリー小説を展示しています。

場所：ティーンズ展示コーナー

児童展示

「みんなで読みつないだ本」

「本のかんらんしゃ」と「本のメリーゴーランド」で読まれた本を展示しています。

場所：児童展示コーナー

郷土展示

「郷土と戦争」

戦争に関連した高知県の人物や出来事などについて書かれている本を展示しています。

場所：郷土展示コーナー



新着本紹介



小説	『白鷺立つ』 住田 祐
『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井 リョウ	『マッドのイカれた青春』 実石 沙枝子
『陰態の家』 夢枕 獏	『右から二番目の星へ』 水庭 れん
『英雄の輪』 真藤 順丈	『モンテスキューノート』 首藤 瓜於
『閲覧厳禁』 知念 実希人	『読むと死ぬ本』 彩藤 アザミ
『おまえレベルの話はしてない』 芦沢 央	『冷蔵庫探偵蔵前怜子』 遠藤 彩見
『菊の慟哭』 吉川 英梨	エッセイ
『殺し屋の営業術』 野宮 有	『いまだ悪戦苦闘中』 垣谷 美雨
『佐伯警部の推理』 佐々木 譲	『真夜中に吠えたくなくて』 椎名 誠
『さらば！店長がバカすぎて』 早見 和真	『無駄にしたくなかった話』 水村 美苗
『七人の記者』 一本木 透	外国文学
『職分』 今野 敏	『キャンディハウス』 ジェニファー・イーガン
『森羅記 1』 北方 謙三	『不揃いな家族』 アン・パチュット
『追憶の鑑定人』 岩井 圭也	郷土
『天馬の子』 高瀬 乃一	『あやかしたち』 畠中 恵
『どら蔵』 朝井 まかて	『双死相殺』 西澤 保彦

パソコン	医学
『Web フォント実践ガイド』 飯塚 修平	『大人の愛着障害』 高橋 和巳
『みんなのピクセルアート』 日貿出版社	『社交不安症・対人恐怖症を治す本』 清水 栄司
歴史	料理
『“一億特攻” への道』 大島 隆之	『お豆腐、今日はどう食べる？』 石原 洋子
『見えない壁』 本間 浩昭	『じゃんじゃん使えるレモンづくし』 農文協
『47 都道府県・合戦百科』 小和田 泰経	農業
社会	『使い切れない農地もっと活用読本 続』 農文協
『老いを読む老いを書く』 酒井 順子	『レアベジ』 藤田 智
『地震に強い収納のきほん』 松永 りえ	ビジネス
『日本被団協と出会う』 大塚 茂樹	『気のきいた短いメールが書ける本』 中川路 亜紀
生物	『60 分でわかる！特定商取引法超入門』 村上 嘉奈子 他
『クリオネのはなし』 高橋 邦夫 他	芸術
『シャチまるごと BOOK』 南幅 俊輔	『もっと知りたい中国の書』 田中 亮
『たくましくて美しい淡水生物図鑑』 関 慎太郎	『もっと知りたい日本の染織』 小山 弓弦葉

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前 9 時～午後 7 時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書 10 冊(2 週間)／雑誌 5 冊(2 週間)／DVD・ビデオ 2 点(2 週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日 10 時 20 分～／場所：おはなしの部屋)

※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車 3 台分)